

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
発達心理学演習 Practice of Developmental Psychology		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	鄭 曉琳	
概要				
<p>発達心理学の主要な知見について、どのような方法でその知見が得られたのかを具体的な実験方法を学ぶことによって理解する。実験論文の読み方・レジュメの作り方・発表の仕方を説明する。</p>				
到達目標				
<p>(1) 発達心理学の主要な理論を説明できる。 (2) 各自が関心のある発達心理学のテーマについて調べ、資料を作成することができる。 (3) 自分の意見を他者にわかりやすく・説得的にプレゼンできるようになる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>1 オリエンテーション 2 0歳児の発達の特徴と遊び — 感覚運動遊び 3 1歳児の発達の特徴と遊び — 感覚運動遊びと破壊遊び 4 2歳児の発達の特徴と遊び — 構造遊びと運動遊び 5 3歳児の発達の特徴と遊び — 構造遊びと運動遊び 6 4歳児の発達の特徴と遊び — 運動遊びとルール遊び 7 5歳児の発達の特徴と遊び — 運動遊びとルール遊び 8 6歳児の発達の特徴と遊び — 運動遊びとルール遊び 9 発達障害と支援 — ASDと支援 10 発達障害と支援 — ADHDと支援 11 発達障害と支援 — LDと支援 12 発達心理学の諸問題に関する研究事例の発表と討議① 13 発達心理学の諸問題に関する研究事例の発表と討議② 14 発達心理学の諸問題に関する研究事例の発表と討議③ 15 全体のまとめ</p>				
テキストおよび 参 考 文 献	「発達心理学」山口短期大学			
メ ッ セ ー ジ な ど	<p>子どもを理解するためには、まず、しっかりした行動観察が必要とされます。子どもたちの仲間関係の形成や表現される行動に興味のある方は受講してください。 保育士証：選択必修科目</p>			

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 発達心理学の主要な理論を説明できる。	ワークシートの全ての項目が妥当な内容で詳しく記述されている。	ワークシートの全ての項目が、大きく間違っていない内容。	ワークシートの半数の項目が空欄か不適切な内容。	2/3 以上の項目が空欄か不適切な内容。あるいは未提出。	授業への取り組み・グループ討議への参加（関心・意欲・態度） (50%)	50%
(2) 各自が関心のある発達心理学のテーマについて調べ、資料を作成することができる。	十分に調べられて、説得力のある資料である。	調べられて、説得力のある資料である。	調べが不足している、説得力が不足している。	調べが全く不足している、説得力がない。	期 末 発 表 (50%)	50%
(3) 自分の意見を他者にわかりやすく・説得的にプレゼンできるようになる。	堂々と聴衆を見ながら声量も十分に適切なスピードで発表できている。	視線や声量、話すスピードともに一定のレベルに達している。	視線、声量、話すスピードを改善する必要がある。	発表態度全体を大きく改善する必要がある。		